

表20 生活費・教材費および自分で得た収入

生活費および教材費（月平均）	66,700円
自分で得た収入（月平均）	98,000

表21 奨学金を受けていますか

はい	575( 43.0)
いいえ	730( 54.6)
無回答	31( 2.3)
合計	1,336(100.0)

表22 奨学金月額

1ヵ月平均	39,000円
最小	3,000
最大	99,000

表23 奨学金をどこから受けているか（複数回答）

卒業後就職する予定の病・医院	323( 56.2)
都道府県・市町村（卒業後就職する条件付き）	249( 43.3)
都道府県・市町村（上記を除く）	27( 4.7)
日本育英会	42( 7.3)
その他	30( 5.2)
回答者数	575(100.0)

### 3. 奨学金

奨学金は、43.0%が受けている（表21）。奨学金は、1ヵ月平均39,000円であった（表22）。奨学金を受けている学生の56.2%は卒業後就職する予定の病・医院から卒業後就職することを条件に、奨学金を受けている。また都道府県・市町村からも奨学金を受けている割合が高い（表23）。

## IV 入学したことの利点とやめようと思ったこと

### 1. 入学してよかったこと（表24）

進学コースに入ってよかったことの項目を3つ選んでもらった。その結果、「看護の知識や技術が身についた」「視野が広がった」「看護の奥深さを知った」ということが喜びとなっている。

### 2. 入学への満足感（表25）

進学コースに入学したことに喜びを感じている学生は、「おおいに感じている」「まあ感じている」を合わせると7割に達することから、進学したことに満足している傾向にある。

## 3. 働きながら学ぶことの切実な問題 (表26)

働きながら通学している学生は602人 (55.1%) おり、その学生の切実な問題は、「自分の時間がない」「勉強がおろそかになる」という項目がそれぞれ26.1%、20.6%と、高い割合を占めている。「勉強がおろそかになる」という点は問題である。

## 4. 学校をやめようと思ったこと

「学校をやめようと思ったこと」は、53.4%が「ある」と回答している (表27)。

やめたいという理由で最も多いのは、「自分の性格が看護婦に向いていないと思った」43.2%である。次いで「自分の能力の限界を感じた」38.8%、「実習で落ち込んだ」37.4%と続いている。この結果は、職業アイデンティティ形成期においてしばしば生ずる自信のなさに起因するのか、他者から求められる期待が大きすぎて、それに応えることができない意気消失反応であるかは不明である。またどの程度切実にやめたいと思ったかについての度合いはわからない (表28)。

これを学校の種類別にみると、定時制では、「仕事と通学との両立に限界を感じた」という回答にその割合が最も高いのが特徴である。実際に勤務しながら通学している学生は、精神的な落ち込みよりも

表24 入学してよかったこと (複数回答)

看護の知識や技術が身についた	787( 58.9)
自分が人間的に成長した	564( 42.2)
信頼できる友人と出会えた	418( 31.3)
信頼できる教員と出会えた	65( 4.9)
視野が広がった	713( 53.4)
やりがいを見いだせた	118( 8.8)
看護の奥深さを知った	703( 52.6)
チームワークの大切さを知った	190( 14.2)
その他	23( 1.7)
特にない	0( — )
回答者数	1,336(100.0)

表25 入学への満足感

おおいに感じている	379( 28.4)
まあ感じている	619( 46.3)
どちらともいえない	232( 17.4)
あまり感じていない	68( 5.1)
全く感じていない	19( 1.4)
無回答	19( 1.4)
合計	1,336(100.0)

表26 働きながら学ぶことの切実な問題

睡眠不足	102( 16.9)
翌日まで疲れが残る	69( 11.5)
職場の人間関係で気を使う	58( 9.6)
自分の時間がない	157( 26.1)
勉強がおろそかになる	124( 20.6)
体調を崩しやすい	68( 11.3)
その他	24( 4.0)
無回答	0( — )
合計	602(100.0)

表27 学校をやめようと思ったこと

やめようと思ったことがある	713( 53.4)
やめようと思ったことなし	586( 43.9)
無回答	37( 2.8)
合計	1,336(100.0)

1992年 看護学生の進路選択に関する調査

毎日のきつい生活がやめたい理由となっている。

これまでに一番やめたいと思ったとき、「やめないでいられた理由」は「自分の力で乗り切った」と「時間が解決してくれた」などの回答でもわかるように、他者の援助をあまり受けないで問題解決している（表29）。

表28 学校をやめようと思った理由（複数回答）

	全日 制 養 成 所	定時 制 養 成 所	短期大学	専攻科	合 計
看護の職場に魅力がないと思った	24 ( 11.9)	48 ( 12.9)	17 ( 25.8)	8 ( 10.8)	97 ( 13.6)
自分の性格が看護職に向いてないと思った	112 ( 55.4)	125 ( 33.7)	33 ( 50.0)	38 ( 51.4)	308 ( 43.2)
実習で落ち込んだ	98 ( 48.5)	104 ( 28.0)	29 ( 43.9)	36 ( 48.6)	267 ( 37.4)
講義内容がつまらなかった	14 ( 6.9)	33 ( 8.9)	15 ( 22.7)	10 ( 13.5)	72 ( 10.1)
友人関係がうまくいかなかった	29 ( 14.4)	10 ( 2.7)	3 ( 4.5)	12 ( 16.2)	54 ( 7.6)
実習先の看護職がいやだった	24 ( 11.9)	43 ( 11.6)	5 ( 7.6)	13 ( 17.6)	85 ( 11.9)
自分の能力の限界を感じた	90 ( 44.6)	133 ( 35.8)	26 ( 39.4)	28 ( 37.8)	277 ( 38.8)
これから自分が何をしていたらよいかわからなくなった	76 ( 37.6)	124 ( 33.4)	26 ( 39.4)	32 ( 43.2)	258 ( 36.2)
教員への不満	44 ( 21.8)	82 ( 22.1)	5 ( 7.6)	18 ( 24.3)	149 ( 20.9)
体がもたないと感じた	26 ( 12.9)	126 ( 34.0)	12 ( 18.2)	10 ( 13.5)	174 ( 24.4)
仕事と通学との両立に限界を感じた	2 ( 1.0)	137 ( 36.9)	1 ( 1.5)	0 ( — )	140 ( 19.6)
その他	13 ( 6.4)	51 ( 13.7)	8 ( 12.1)	6 ( 8.1)	78 ( 10.9)
回答者数	202 (100.0)	371 (100.0)	66 (100.0)	74 (100.0)	713 (100.0)

表29 やめないでいられた理由

時間が解決してくれた	146( 20.5)
教員の援助があった	7( 1.0)
学校の友人の援助があった	100( 14.0)
学校以外の友人の援助があった	83( 11.6)
家族の援助があった	53( 7.4)
自分の力で乗り切った	157( 22.0)
無回答	167( 23.4)
合 計	713(100.0)